広報
さめがわ

第123号
昭和39年
2月15日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



完全給食初まる

西野小、西山小をモデルケースとして、準備が進められていた完全給食の試みは、いよいよ調理室もでき、設備も整ったので、先頃重油バーナーに火入れが行われました。

二月十日のおひるから、子供さんたちの前に、待望のパンやミルクや、心のこもったおかずがならべられ、思わずよろこびのどよめきが起りました。

合理的に計算された栄養と村と父兄の心づくしで、立派な身体と、よいしつけを育てて下さいね。

税金が安くなります

青色申告の申請は3月16日までです。申請および記帳相談に応じておりますからお気軽におでかけ下さい

棚倉税務署

2月の人口と世帯

人口	7.818	(－3)
男	3.874	(－4)
女	3.944	(－7)
世帯数	1.237	(－1)

新しい親子関係

学校の教育と家庭のしつけ

（中央婦人学級の学習より）

河郡妻郷中学校長の五十嵐先生を、お招ぎして伺った話の要点を水野講師補佐、藤田婦人会長さんが、まとめられたものを掲載いたします。

子供の教育は学校まかせでよいのか

「教育は学校の先生にまかせておけばよいのだ」と、言葉づかいが悪かったり行儀が悪いのも学校のせいにしている親もありますが、学校は勉強をし社会生活に耐えられる人間をつくる集団訓練の場であって、シツケは家庭で指導すべきことではないでしょうか。何も彼も学校まかせにする考えは間違いで家庭でなすべきことも考えて頂きたい、かと言って親が子供の勉強をみてやることではありません子供に無理な仕事を言いつけたりしないで、勉強する時間を与えてやったり勉強しやすい環境をつくってやることが大切でしょう。

明るい家庭がシツケのもと

家庭のシツケといってもむずかしいことではありません子供の感情を豊かに素直に育てることで、そのためには夫婦けんかなどのない楽しい明るい家庭であるように心がけて頂くことです。学校で緊張しきって神経をすりへらして家に帰ってくる子供に、家庭でのイザコザは良い影響をあたえるはずはありません。

頭の良い子供が学校の成績が良いとは限りません。知能と学業成績は一致しないことが多く、この原因は家庭の環境による影響があります。

親に口ごたえする子供の立場も理解しよう

子供には大きく分けて三つの反抗期があると考えられます。第一期は五・六才ごろ、第二期は小学校の三、四年生第三期は中学生です。よく今の子供は理屈を言うといわれますが、学校では民主々義の教育方針にそって自分の考えを素直に話せる人間を養成しているので当然の結果であると思います。



親に考えて頂きたいのは子供のヘリクツときめつけないで、意見として聞いてやるべきで親としても子供を納得させるだけの理屈で話し合うべきだと考えます。それには子供を納得させるだけの理屈を言える親としての勉強をして欲しいと思います。

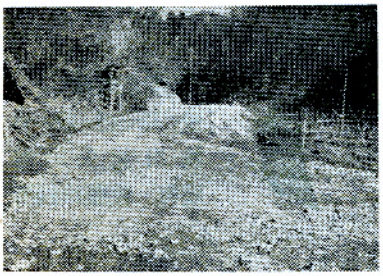
—〇—

以上のほかにテレビの影響純潔教育、不良化の問題など多くのお話がありましたが紙面の都合により省略させて頂きます。

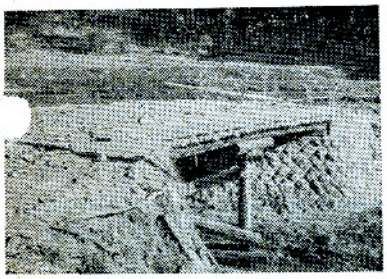
（文責　鈴木　一）

写真は講師の話に聞きいる学級生

西山地内の道路改良



西山の中心に通ずる村道赤坂石川線はブル工事で巾員を拡張した。



田中橋もとりあえずかけがえたが何れは永久橋にしたいもの。



落合川にかけられた林道の永久橋は、落合下橋と命名された。

福島県産業開発青年隊員募集

将来各種の建設事業に従事することを希望する青年を募集しています

1. 募集人員　25名
2. 応募資格
   (1) 満18才以上25才までの独身男子で犯罪歴を有しない人
   (2) 義務教育修了以上の学歴を有する人
   (3) 心身健全にして共同生活に耐える人
   (4) 視力矯正 0.7以上で色盲でない人
   (5) 本県出身又は県内に居住している人
3. 教育内容
   一般教養、基礎学、測量、土木、建設機械（特殊自動車免許）自動車（免許）火薬（2 種取扱免許）
4. 訓練期間　39年4月より40年3月まで
5. 募集期間　39年1月より3月10日まで

その他くわしい事は、役場又は土木事務所におたづねください。　（産業課）

議員さんの報酬改正

さきに一般職員の給与改訂が行なわれましたが二月九日に開かれた村議会で議員さん方の報酬が次のように改められました。いずれも月額でカッコ内は旧報酬です。

議長八千円（五千円）、副議長七千円（四・五八〇円）議員六千円（四・一六〇円）

これにともない特別職の給与も次のように改訂されました。

村長五万円（四万五千円）助役四万二千円（三万七千円）収入役四万円（三万五千円）教育長　三万五千円（三万一千円）

おめでた

十二月

二一日　仁田　緑川　義勝
二二日　福原　鈴木　敏和
二五日　大塩　矢吹比佐子
二六日　赤柴　箭内　良治
二八日　越虫　根本　幹雄

一月

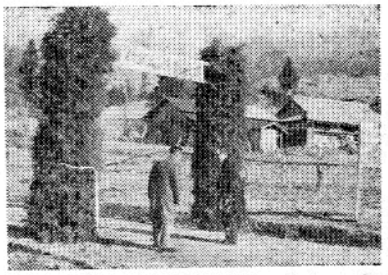
一日　青生野　平久江幸子
二日　青生野　長久保弘江
七日　上高坂　善知
八日　越虫　蛭田タツ子
一〇日　塩倉　矢吹　良子
一〇日　江竜田　寺島　正子
一五日　鍬木田　坂本　孝則
一九日　蒜平　鈴木　正
二〇日　岩野草　松崎　清美
二〇日　上大塩　矢吹　栄

おくやみ

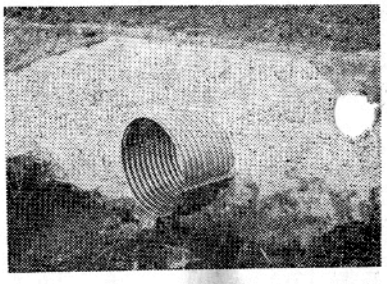
一月

六日　青生野　70山形ハル
九日　大塩　55矢吹光治
一二日　森ノ前　0中川西宏幸
一九日　西野沢　66芳賀茂雄
二五日　蒜平　0鈴木正

朝日山国営林道開通



朝日山林道開通式で、よろこびを分け合う北原署長と石田村長。



暗渠工にはコルゲートパイプが使用され、護岸の石積も堅固である



耕地もつぶれたが、理解ある地元の協力が、工事を順調に進ませた

林道網の整備

村長　石田卯子八

一月七日に、青生野の現地で、朝日山林道の開通式が行われました。

この林道は、棚倉営林署が八七三万余円の国費をついやして完成したものです。延長一七二〇m巾員四mの車道で、村がつくった山村振興林道や県単林道とは比較にならないほど立派にできました。

さすがに国でなければできないと、当日参会のみなさんも感嘆されました。

初めこの林道は、朝日山の西南のふもとから登つて、国の造林地帯に入る計画のようであつたが、村と地元部落の熱心な要望で、現在の出来型のように青生野から西谷地に通ずる旧道にそつて、赤小名部落を経由し、「朝日」「夕日」の西北のふもとを廻つて造林地帯に入つたのであります。

巾員四mという林道は、管内でも初めてということで、地域のためによろこびにたえません。

さてこの林道は営林財産の開発を目ざすものではありますが、一面地域の産業基盤のひとつが整備されたわけで、これからの活用が待たれるのであります。

そのために、県道渡瀬黒田線から国有資源地帯へ直通する筈のこの路線が、部落を通過するように方向を代えたものとも理解されましよう。

私はこの路線が、更に延長されて、世々麦部落の姿平林道に接続することを期待するのであります。

村営姿平林道は、世々麦—姿平間だけできていますが、これは更に開発を進めて、戸草開拓道に連絡させたいものです。

そして先年完成した石井草山村振興林道を南下させて、大石草—戸草間を結び、一方石井草—前田間を開発すれば本村の林野資源地帯を南北に従貫する一大林道路線ができ上ることになります。

村内の中央を通過する県道を表街道とすれば、従貫産業路線として裏街道が完成するわけであります。

今年も、県単林道としては田尻—関口間の関口線、落合—薄ケ久保間の落合線、岩ノ草—虹ケ沢間の岩ノ草線が、それぞれ工事を進めております。

三十九年度には塩倉—岫長間を山村振興林道で開発しようという計画もあり、青生野の井堀—反谷地を開拓道でつなぐという案もあります。

道路つくりに林道開発方式をとりいれるのが本村の地域条件から有利な場合が多いようです。

林道の開発も一般道路と同じように、道路敷の提供、労力資材の協力など、容易でない負担をお願いすることになりますが、村の近代化と産業の発達のため、高い関心と協力をお願いする次第であります。

× × ×

× × ×

国保の窓

保健婦の学生募集

最近公衆衛生施策の進展に伴つて保健活動に対する一般の関心が高まり、保健婦または、養護教諭等、公衆衛生面に活躍する専門技術者の必要性が高まつてきました。

この面の仕事は女性にふさわしくまたどこでも役に立ち健康な社会を建設する原動力となるものです。

ただいま保健婦を志す方のために県立保健婦養成所の学生募集が行われておりますので、次の事項に該当する方は是非お申込み下さい。

なお養成所卒業後は、保健所市町村、工場、事業所の保健婦として、また小・中学校高校の養護教諭、その他病院社会事業関係施設等があり、きわめて広範囲な職域から求められております。

（入学の資格）

一、看護婦免許状を持つている者

二、看護婦養成所を卒業された者

三、看護婦となるのに三年以上必要な学科を修めた者

四、免許を得た後三年以上業務に従事している准看護婦高等学校を卒業している准看護婦で二年以上看護婦養成所で修業した者

（修業期間）

保健婦養成所の修業期間は八ケ月

手続などの詳しい内容、または、今春中学校、高等学校卒業見込の女生徒で将来保健婦を希望する方は、遠慮なく役場住民課にお申出下さい。

（住民課）

恐ろしい火事を失くそう

火災シーズンに入り何かと火を使うことが多くなりますので、火の元には充分注意して下さい。また最近は暖房用器具に電気や石油などを使用するものが多く、正しい使い方をして事故のないよう注意して下さい

本村は昭和37年7月より無火災で現在無火災運動を展開中です。村民各位のご協力をお願いします。なお山火事については次のことを守り予防にご協力下さい。

1. 林野内で焚火をしないこと
2. 林野内を歩行中たばこを吸わないこと。
3. 炭窯の周囲は少くとも10m位の巾は常に清掃し地はだを出しておくこと。

（庶務課）

▶今月の納税◀

木材引取税

38年12月末日までに立木（素材）を売却して申告納付をしてない方は直に申告納付をして下さい。

告知版

母子家庭の相談所

母子福祉事業をおし進め、たえず援助指導が必要な母子家庭を見出すことと、簡易な相談や指導にあたるための、母子家庭相談所が、このたび村に一ヶ所設置されました。

◎赤坂中野字新宿
小滝マツイ宅

小滝さんは、鮫川村未亡人会長と母子福祉推進員を兼ねており、該当者の御利用をお待ちしております。

相談内容は次のとおりです
1.母子家庭の相談と指導
2.母子福祉資金の貸付など
についての相談と指導

（住民課）

七ヶ年完全納税達成に御協力を

今年の村税も皆さんの御理解と御協力によりまして継続七ヶ年完全納税達成にあと一息というところまでこぎつけました。

村では二月十五日を目標に完納をお願いする運動を実施しております。既に富田区及び中野区は二月三日に完納され続いて渡瀬区も二月五日に完納されました。未納になっておられる方はいろいろ都合もあることと思いますが、是非完納に御協力下さい。

（税務課）

学校開放講座

このたび棚倉町の東白川農商高校で文部省の指定（二県で一校）による農村中堅青年講座を、二月十七日より二十二日まで六日間にわたり同校で開催します。

内容は畜産加工、こんにやく、しいたけ、養蚕などの専門科目と、青年活動、農業諸問題などの一般科目にわかれそれぞれ専門の講師が講義にあたりますので是非受講して下さい。

受講料は徴収せず農業従事者であれば性別、年令を問いません、受講される方は早目に村公民館（鈴木）に連絡して下さい。

青年会の行事

村青年会では二月二十二、二十三日の二日間にわたり湯の田温泉上の湯にて、青年をとりまく生活と政治、これからの農業諸問題について研究集会を開きます。

三月一日には渡瀬中屋内運動場にて剣道（各分会三名の選手）卓球（各分会男子六名女子はオープン参加）大会を開きます。参加希望者は各分会長に申しこんで下さい。

耕耘機運転免許試験の受付

三月三、四日の二日間にわたり棚倉にて行なわれますが受付を二月二十日までに行ないます。受験希望者は写真三枚、住民票（既にバイクの免許証を持つている方は不要）手数料六百円をそえて赤坂中野巡査駐在所の佐藤さんに申しこんで下さい。

受験写真を必要な方は講習受講者の婦人の方といっしょに撮影しますから公民館（鈴木）に申しこんで下さい。

郷土の伝説 (17)

二つ石伝説

中井恒雄

西野字虹ヶ沢に変った二つの石が田圃の中に並んで立っている土地の人は、この石を二つ石といっている。

昔、石がさかんに使われ、石はこの世で一番たいせつな宝物であった。ところが西山には山があるが、石は一つもありませんでした。それで土地の人も、どうしてもほしいと毎日探して歩きました。石がでてきたと思ったら、それは完全な石でなく、土の岩ばかりです。石がなくては色々なものに使用できません。



れである日、一人のどろぼうが考えました。西野の石神からどろぼうしてくれば良いと思いました。ある夜、どろぼうは牛をつれて石神に出かけた。うまく牛の背に二つの石を積み、朝にならないうちに帰ろうと、ヨッチヨッチと歩きだしました。なにしろ牛はのろい動物なので、時間もかかります。

西山も、もう少しだという虹ヶ沢までくると、もう東の空は明るくなり、朝になってしまったので、どろぼうはあわてて、その石をそこに降ろし、逃げて行った。

それ以来、石神のたたりがあり、西山地区にはの石つく地名が出来なかったという。

僕たちの力で新しい農村を



東白川地方の青年学級生六十余名が塙町林業指導所久慈荘に合宿して、二月五日、六日の二日間にわたり学級運営の充実をはかり新しい農村を築きあげるための学習について県教委社会教育主事の佐藤先生を講師に各町村公民館主事を助言者にして、学級生代表の意見発表や話し合い、研究集会を開きました。

ふるさとに寄せるたより



関節子

①東野字前田 ②鮫川小 ③昭和三十年 ④郵便局職員 ⑤なし ⑥東京都

この度は、再三に渡り広報「さめかわ」をお送り頂きありがとうございます。発行関係の方々に心からお礼申し上げます。

広報を手にするたびなつかしいふるさとの香の漂いがする様な、そんな気持でくまなく読みほしました。そして日々に発展しゆく鮫川の姿を想像し、頭の中に描き喜びに心のおどるを感じます。十八年間と云う長い年月を過ごしたふるさとの数限りない思い出は、目をとじればその思い出も今日のごとく眼前を走ります。ふるさとを離れ遠方にて日々を送る身にある時、故郷の便りほど言葉に筆につくせぬはげましを覚えるものはありません。隣に住む人さえ知らぬ現状の都会に住み話す人も少ない身にある時、お送り頂きました広報「さめかわ」は、数人の友を得た様な感じが致します。

一層の御発展を心からお祈り申し上げます。

（ん）（き）（ん）（ね）

「国民年金保険料完納月間」国民年金保険料納入については皆様方の御理解により納入成績は向上しております。昭和三十八年度分（三月まで）の保険料納入に対する奨励金は昨年同様二月中に完納した組合に対して交付する事になっております未納の方は御都合の上是非完納されるよう御願いします。

・――・――

ゆたかな老後のためにみんなの国民年金を育てましよう

あとがき

ご婦人方の要望により耕耘機の運転免許を取得するための講習会を開きますが、受講希望者は当初に予想していた五十名をはるかにうわまわり百名をこし主催者側として嬉しい悲鳴をあげました。このことは近ごろ三ちやん農業という言葉が使われていますがその実態を如実に示したものと言いるでしう。

現金収入を他にもとめるため主人が農業の中心から離れてゆき、本来は家事と育児に専念すべき主婦に農作業の労働が双肩にかかり主婦の責任をますます重くしてゆくことでしよう。盛況であろう講習会の準備をしながら農村の婦人はこれから、どうなるのだろうと、いたらぬ思いにかられました。

（鈴木）